⑲日本国特許庁（JP）　⑪実用新案出願公開

⑫公開実用新案公報（U）　平4－75523

| ⑤1Int.Cl.⁵ | 識別記号 | 庁内整理番号 | ⑬公開　平成4年(1992)7月1日 |
|---|---|---|---|
| A 61 F 13/58 | | | |
| | | 8118－3B　A 41 B 13/02 | J |

審査請求　未請求　請求項の数 2　（全　頁）

⑤4考案の名称　使い捨ておむつ

⑳実　願　平2－116949
㉒出　願　平2(1990)11月7日

⑦2考　案　者　宇　田　　正　大阪府大阪市中央区瓦町1丁目4番11号　トーヨー衛材株式会社内
⑦1出　願　人　トーヨー衛材株式会社　愛媛県川之江市金田町半田乙45番地2
⑦4代　理　人　弁理士　植木　久一

Best Available Copy

# 明　細　書

1．考案の名称

使い捨ておむつ

2．実用新案登録請求の範囲

(1) 透水性シート，吸収材及び不透水性シートからなり、おむつ長手方向の一方端両側部に互いに連結可能な1対の帯部材を設けると共に、おむつ長手方向の他方端両側部に1対のファスニングテープを配設してなる使い捨ておむつにおいて、前記帯部材の少なくとも一方には、伸縮自在な弾性部が形成されてなることを特徴とする使い捨ておむつ。

(2) 一方の帯部材の先端部分には粘着剤層が形成され、他方の帯部材には前記粘着剤層の形成幅と同一又はより広幅で且つ上記粘着剤層との接着又は離脱が自在に行なえる離型部が形成されてなる請求項(1)に記載の使い捨ておむつ。

3．考案の詳細な説明

［産業上の利用分野］

本考案は使い捨ておむつに関し、詳細には人体



315
実開4－75523

への装着を容易に行なうことのできる帯部材を設けた使い捨ておむつに関するものである。

［従来の技術］

透水性シート，吸収材及び不透水性シートによって形成された使い捨ておむつは既に多くの種類が市販されている。これら市販おむつの大部分は、おむつ本体における長手方向の一方端側（一般に背中側）の両側部に1対のファスニングテープを固着し、該ファスニングテープに添設された感圧接着剤を利用してこのファスニングテープをおむつ本体における他方端側（一般に腹部側）の表面シート（不透水シート）へ接着する様な構造になっている。

ところがこの様な使い捨ておむつは、着用者を上向きに寝かせた状態でないとファスニングテープの接着が行なえないものであった。また装着している間に着用者が動くと、おむつが位置ずれを生じるといった問題点もあった。

そこでこれらの問題を解決するための使い捨ておむつとして実開昭６０－２５７０１号に示す様

なものが考え出されている。

すなわちこのおむつは、おむつ本体の長手方向の一方端両側部に1対のファスニングテープを固着すると共に、他方端（一般に背中側）の両側部に1対の帯部材を取付け、合成樹脂製フィルムや不織布等によって形成された上記帯部材の一方に接着紙を配設したものである。従って装着に当たっては、帯部材同士を重ね合わせて接着し、おむつを着用者の胴部に仮止めすることができ、次いでおむつ本体を股間部を通して包み込む様に腹側へ回わし、上記ファスニングテープによっておむつ本体の端部同士を接合して被着させるものである。即ち着用者を立たせた状態で着用できるものであった。

［考案が解決しようとする課題］

ところが上記帯部材によって小児等の胴部を強く締め付けてしまうと、着用者の複式呼吸を阻害したり、或は腹部皮膚面を圧迫して痛みやかゆみ等の不快感を招くことがある。しかし逆に帯部材の装着を緩いものにすると、おむつ本体を保持す

る作用が低下し、装着くずれを起こし易くなってしまう。

そこで本考案者は、着用者を立たせた姿勢で取付けが行なえるだけでなく、着用者に圧迫感や不快感を生じることなく確実な装着を行なえる使い捨ておむつを提供する目的で工夫を重ね、本考案を完成した。

［課題を解決するための手段］

上記目的を達成した本考案は、透水性シート，吸収材及び不透水性シートからなり、おむつ長手方向の一方端両側部に互いに連結可能な1対の帯部材を設けると共に、おむつ長手方向の他方端両側部に1対のファスニングテープを配設してなる使い捨ておむつにおいて、前記帯部材の少なくとも一方には、伸縮自在な弾性部が形成されてなることを要旨とするものである。

［作用及び実施例］

第1図は本考案の代表的な実施例を示す平面説明図である。おむつ本体1は透水性シート4，吸収材3及び不透水性シート2等によって形成さ

れ、透水性シート４と不透水性シート２の周縁を接着し、その袋体内部に粉砕パルプやティシュ等からなる吸収材３が収納されている。なお必要に応じて股部、腹部、背中部に相当する部位には、シート２，４の間に糸状又はシート状等の弾性部材６ａ，６ｂを挟み込んで、伸縮自在なギャザー部を形成するものであっても良い。

そしておむつ本体１の長手方向の一方端両側部には感圧接着剤を片面に塗布した公知のファスニングテープ５を１対固着する。このファスニングテープ５の固着側端部は着用時には着用者の腹部側Ｆに相当する。

またおむつ本体１の背中側Ｂに相当する他方端にはその両側部に１対の帯部材１０，１１が固着される。そして該帯部材の少なくとも一方には弾性部が設けられるものであり、図例においては帯部材１１の一部に弾性部１１ｂとして伸縮自在な不織布が用いられ、その先端には接着部１１ａが形成される。該接着部１１ａは第２図に示す様にフィルム状基材２１に感圧接着剤等の粘着剤層

２３を積層し、該粘着剤層２３に離型テープ２２を添付させたものであり、離型テープ２２を剥がせば後述する帯部材１１の離型部２６へ貼り付けが可能となる。なお符号Ｃは着用者の皮膚面側、符号Ｄは外表面側を各々示す。なお上記弾性部１１ａは糸状又はテープ状の弾性体を不織布やフィルム等に伸長状態で添設してギャザー状に形成したものや、弾性を有する発泡体等を使用したものであっても良い。

他方の帯部材１０は第３図に示す様に不織布２４上に合成樹脂発泡体シート２５を積層し、さらにその上に離型部として合成樹脂フィルムを積層してなるものであり、該合成樹脂フィルムの外表面側Ｄは上記粘着剤層２３の接着及び離脱が何度でも行なえる剥離性と強度を有するものが採用される。そして該帯部材１０の周縁部は曲線状に滑らかに形成されると共に、前記離型部２６の幅$W_2$は発泡体シート２５等の幅$W_1$より狭く形成され、合成樹脂フィルムの縁部が着用者の皮膚面へ直接触れるのを防止し、痛み等の不快感を生じ

ることのない様に構成されることが好ましい。この離型部２６の材料は合成樹脂フィルムに限定されず、不織布や布に剝離剤等を塗布したもの等であっても良い。また上記発泡体シート２５は省略したり、或は他の不織布等に替えたものであっても良い。さらに帯部材同士の接続手段としては断片状の接着テープを用いるもの、或は帯部材の両方に自着性の粘着剤を各々塗着させたもの等であっても良く、さらに帯部材１０，１１の一方を長く形成し、他方をおむつ本体１の表面に一体的に設け、実質的に１本の帯部材で胴部を囲む様なものであっても良い。

第４図は第１図の背面図であり、おむつ本体１の背中側Ｂの端部にはフィルム８が添設され、ファスニングテープ５の接着及び離脱を何度でも繰返し行なえる様に構成しておくことが望ましい。

さらに前記帯部材１０，１１は第１図に示す様におむつ本体１の端縁より長さｙだけ下側へずらして固着しておくことが好ましく、これによって

後に説明する様に、帯部材１０，１１はファスニングテープ５によるリング状の固定位置より下側に被覆されることになり、おむつ本体１の位置ずれを可及的に防止することができる。なお上記長さｙはファスニングテープ５の幅と略同一とすることが推奨される。

次いで第５，６図によって本考案使い捨ておむつの着用例について説明する。まず第５図の如く着用者Ｍの胴部に帯部材１０，１１を巻き付ける。このとき片手で帯部材１０を腹部に当てて押えつつ、もう一方の手で帯部材１１の弾性部１１ｂを若干引き伸ばしながら接着部１１ａを帯部材１０の雌型部２６の上面に貼り付ける。この状態でおむつ本体１は帯部材１０，１１によって仮止めされて、着用者の尻部に垂れ下がっているので、おむつ本体１の腹部側Ｆを股間部Ｋを通して腹側へ導き、ファスニングテープ５，５をフィルム８へ貼り付ける。そして第６図に示す様な装着状態で使用する。

なお着用方法はこの例に限定されず、着用者の

腹背側を逆にしたり、或は腹側からおむつを当てがって仮止めした後、このおむつを１８０度回転してずらせ前記と同様に着用させる方法等を採用しても良い。

従って本考案の使い捨ておむつは着用者を寝かせた状態だけでなく、立たせた状態で取付けることができ、また帯部材の一部が伸縮自在となっているので着用者が圧迫感等を感じる様なことはない。また帯部材１０の皮膚面側は柔軟な発泡体シート等によって形成されているので、着用者が帯部材１０，１１によって痛み等を感じる様なこともない。

本考案の使い捨ておむつは上記説明例のものに限られず、股部にギャザー部を形成していないものや、或はファスニングテープを伸縮自在な構造としたもの等、公知の使い捨ておむつ全般に適用できる。

［考案の効果］

本考案は以上の様に構成されているので、着用者を立たせた状態で取付けができるものでありな

がら、帯部材が圧迫感や痛み等の不快感を引き起こす様なことはなくなった。

また帯部材とファスニングテープの両方でおむつ本体を保持できるので、装着中の位置ずれも生じ難くなった。

4．図面の簡単な説明

第1図は本考案の代表的な実施例を示す平面説明図、第2図は第1図のII－II線断面図、第3図は第1図のIII－III線断面図、第4図は第1図の背面図、第5図は第1図に示す使い捨ておむつの取付け過程を示す説明図、第6図は装着状態を示す説明図である。

1…おむつ本体　　2　不透水性シート

3…吸収材　　4　透水性シート

5…ファスニングテープ

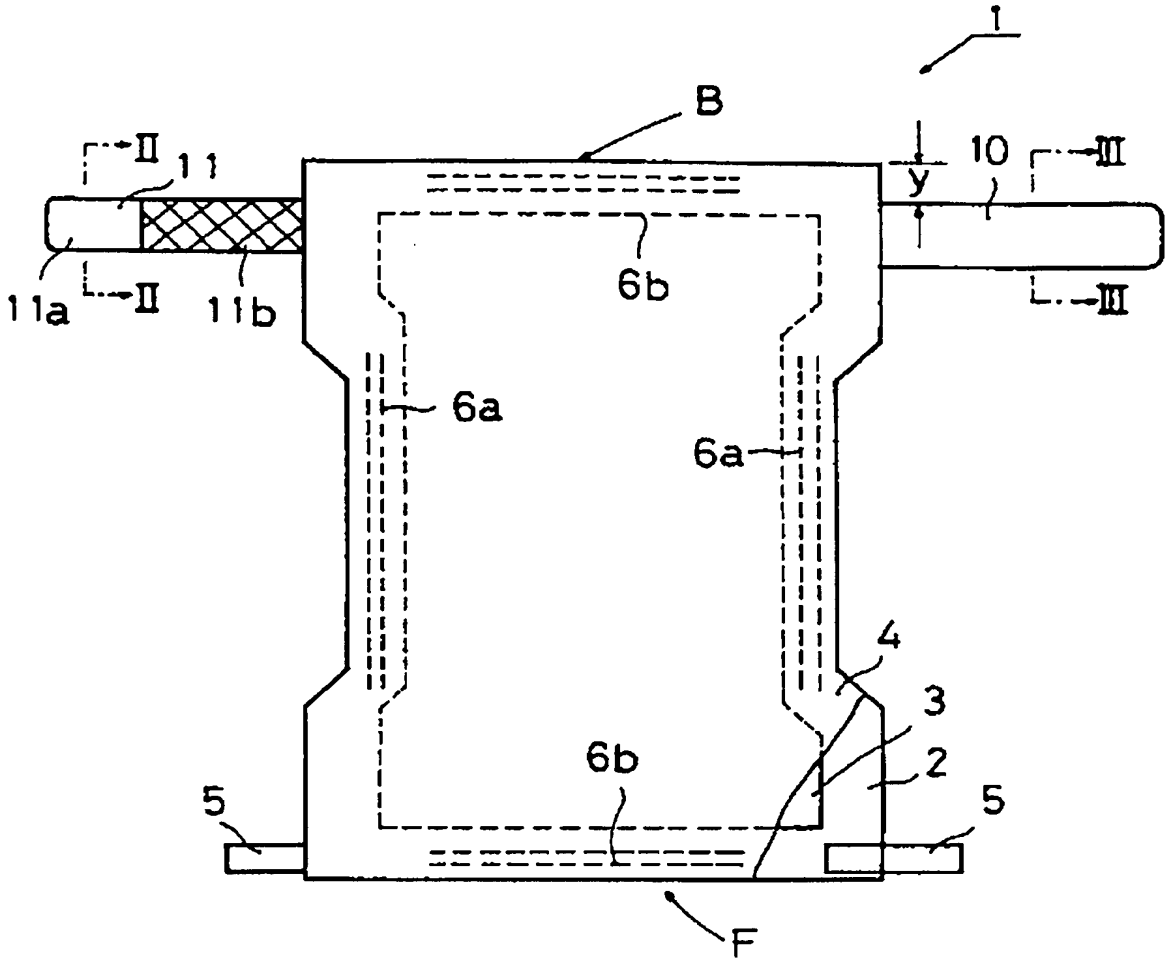
6a,6b …弾性部材　　8…フィルム

10,11 …帯部材　　23…粘着剤

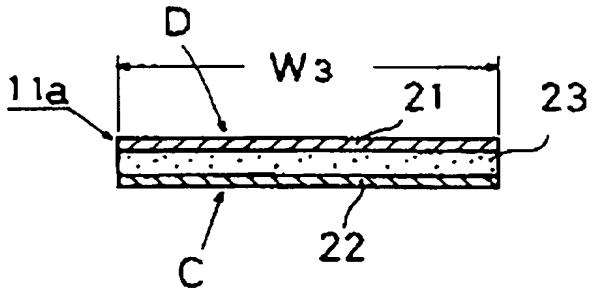
24…不織布　　25…発泡体シート

26…離型部

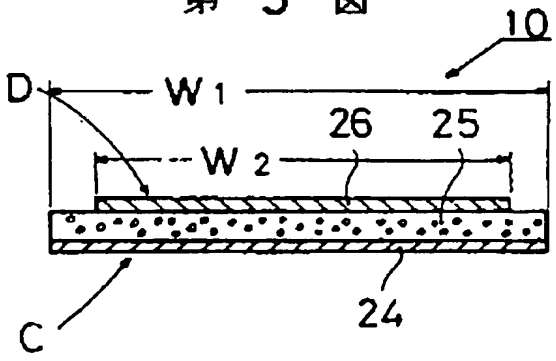
第 1 図


1
B
II
11
10
III
y
11a
II
11b
6b
III
6a
6a
4
3
6b
2
5
5
F

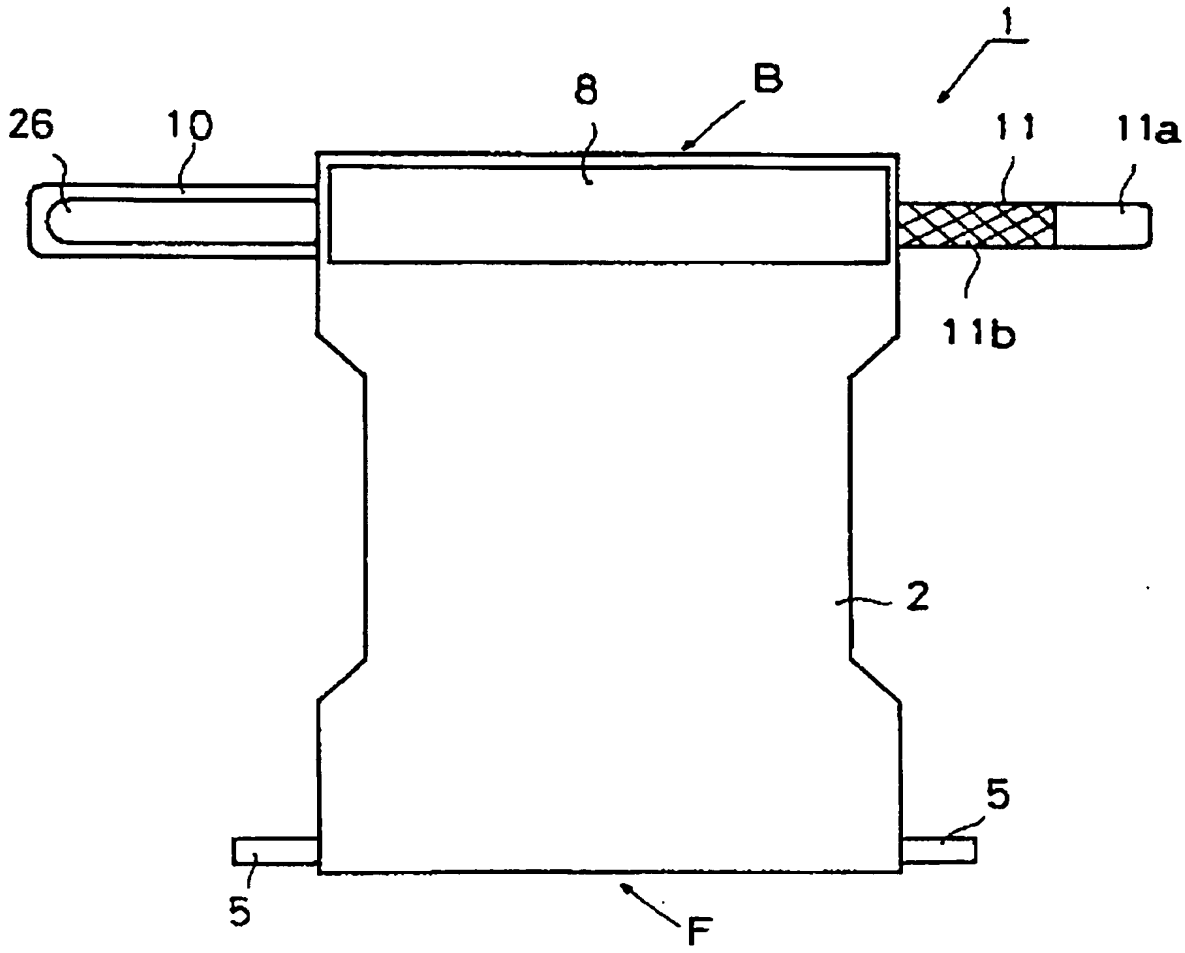
第 2 図


D
W3
11a
21
23
C
22

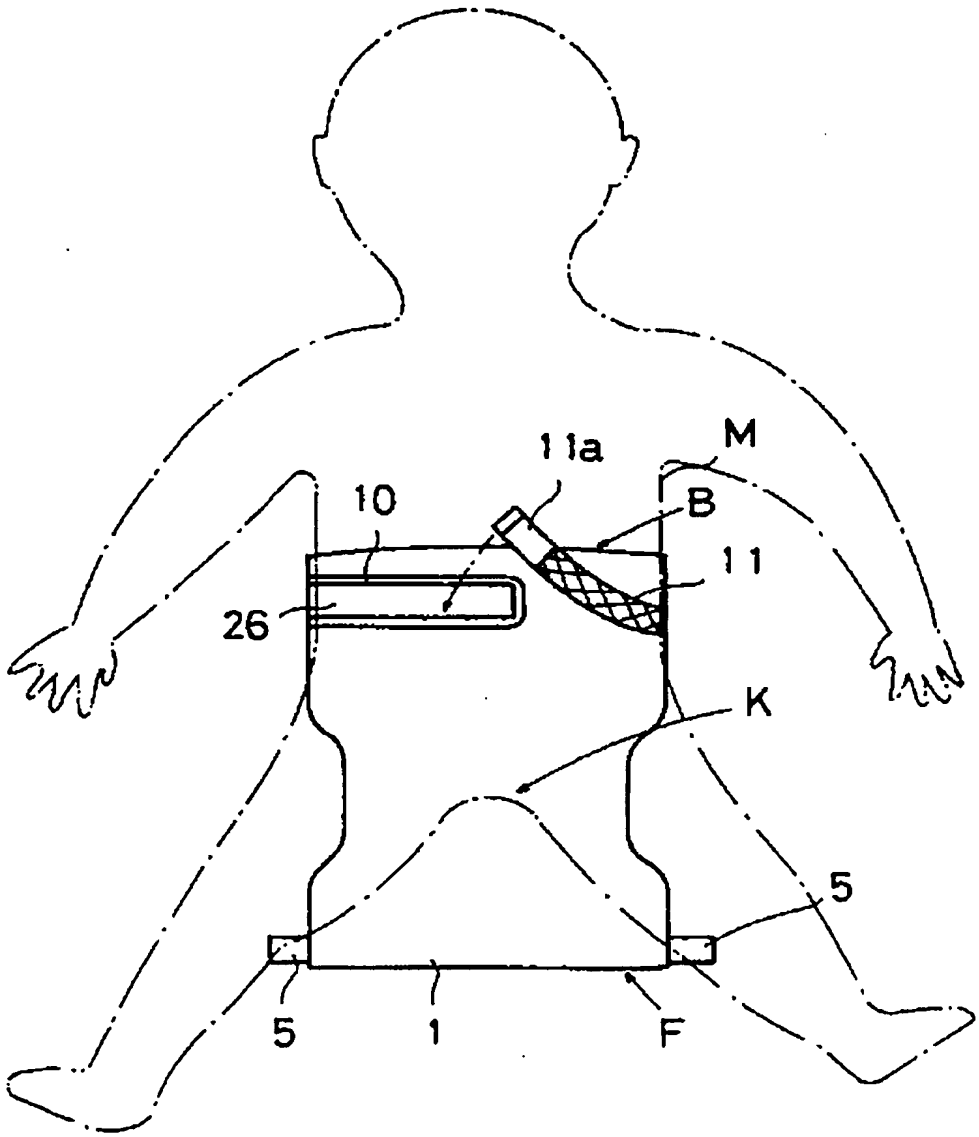
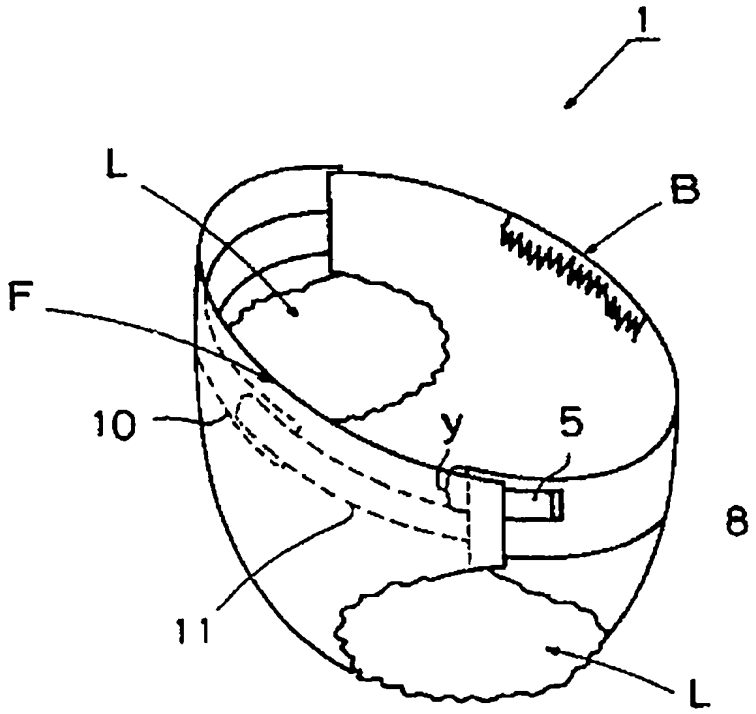
第 3 図


10
D
W1
26
25
W2
C
24

第 4 図



第 5 図



第 6 図